

調査票のイメージ

- 調査対象となる子どもの保護者が記入することを想定
- 量の見込みの推計上必要な項目を青字で表記

(注) 施設・事業の名称についてそれぞれの地域で親しまれている名称とするなど、回答者によって分かりやすい名称に変更することも可能。

回答するに当たってお読みください

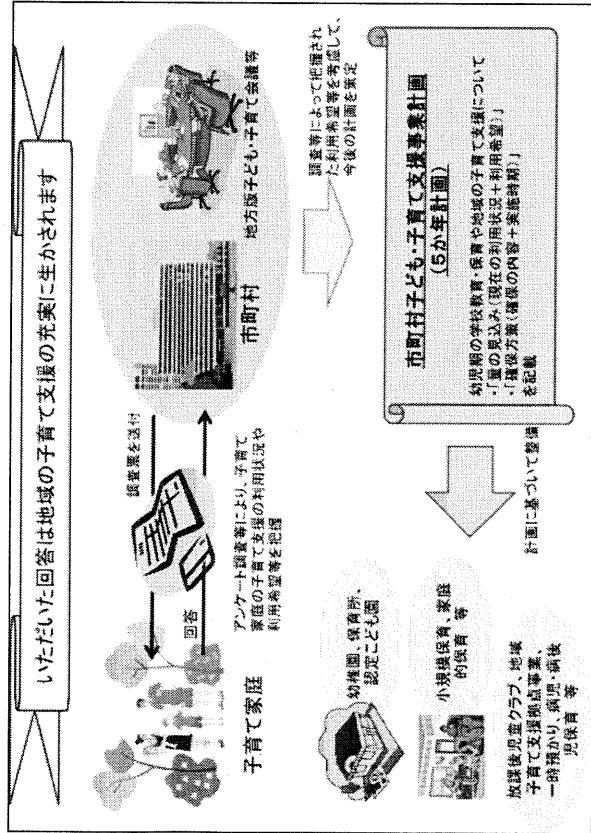
あなたがお住まいの市町村では、子ども・子育て支援法（平成24年法律第65号）に基づく新たな子ども・子育て支援の制度（以下「子ども・子育て支援新制度」といいます。）の下で、教育・保育・子育て支援の充実を図るため、5年間を一期とする子ども・子育て支援事業計画を作成し、計画的に給付・事業を実施することとされています（平成27年度から実施予定）。

本調査は、この計画で確保を図るべき教育・保育・子育て支援の「量の見込み」を市町村が算出するため、住民の皆さんの教育・保育・子育て支援に関する「現在の利用状況」や「今後の利用希望」を把握するために行うものです。

なお、ここで回答していただいた内容（施設や事業の利用希望等）は、施設や事業の具体的な利用の可否を確認・決定するものではありません。将来の利用希望を変更していただいて構いません。

また、この制度は、以下のような考え方に基づいています。

- 子ども・子育て支援新制度は、急速な少子化の進行、家庭・地域を取り巻く環境の變化に対応して、子どもや保護者に必要な支援を行い、一人ひとりの子どもが健やかに成長することができる社会を実現することを目的としています。
- 子どもの成長においては、乳児期におけるしつかりとした愛着形成を基礎とした情緒の安定や他者への信頼感の醸成、幼児期における他者との関わりや基本的な生きる力の獲得、学童期における心身の健全な発達を通じて、一人ひとりがかけがえない個性ある存在として認められるとともに、自己肯定感を持って育まれることが重要です。子ども・子育て支援新制度は、社会全体の責任として、そのような環境を整備することを目指しています。
- 子ども・子育て支援は、以上のような考え方をもとに、保護者には子育てについての第一義的責任があることを前提としつつ、保護者が子育てについての責任を果たすことや、子育ての権利を享受することが可能となるような支援を行うものです。地域や社会が保護者に寄り添い、子育てに対する負担や不安、孤立感を和らげることを通じて、保護者が自己肯定感を持ちながら子どもと向き合える環境を整え、親としての成長を支援し、子育てや子どもの成長に喜びや生きがいを感じることでできるような支援を目指しています。



(用語の定義)

この調査票における用語の定義は以下のとおり

- ・幼稚園：学校教育法に定める、3～5歳児に対して学校教育を行う施設(学校教育法第22条)
- ・保育所：児童福祉法に定める、保育を必要とする0～5歳児に対して保育を行う施設(児童福祉法第39条)
- ・認定こども園：幼稚園と保育所の機能を併せ持つ施設(就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律第2条第6項)
- ・子育て：教育・保育その他の子どもの健やかな成長のために行われる支援
- ・教育：問14までにおいては家庭での教育を含めた広い意味、問15以降においては幼児期の学校における教育の意味で用いています

お住まいの地域についてうかがいます。

問1 お住まいの地区として当てはまる答えの番号1つに○をつけてください。

1. 〇〇 2. 〇〇 3. 〇〇
4. 〇〇 5. 〇〇 6. 〇〇

封筒の宛名のお子さんご家族の状況についてうかがいます。

問2 宛名のお子さんの生年月月をご記入ください。(口内に数字でご記入ください。数字は一律に一字。)

平成 年 月 生まれ

問3 宛名のお子さんのまようだいは何人いらっしゃいますか。宛名のお子さんを含めた人数を口内に数字でご記入ください。お2人以上のお子さんがいいらっしゃる場合は、末子の方の生年月月をご記入ください。

まようだいの数 人 末子の生年月月 平成 年 月 生まれ

問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみられた関係でお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 母親 2. 父親 3. その他()

問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 配偶者がいる 2. 配偶者がいない

問6 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)を主にしているのはどなたですか。お子さんからみられた関係で当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 父母ともに 2. 主に母親 3. 主に父親 4. 主に祖父母 5. その他()

子どもの育ちをめぐる環境についてうかがいます。

問7 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）に日常的に関わっている方はどなた（施設）ですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 父母ともに	2. 母親	3. 父親	4. 祖父母	5. 幼稚園	6. 保育所
7. 認定こども園	8. その他（ ）				

問8 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）に、もっとも影響すると思われる環境すべてに○をつけてください。

1. 家庭	2. 地域	3. 幼稚園	4. 保育所	5. 認定こども園
6. その他（ ）				

問9 日頃、宛名のお子さんをおみてもらえる親族・知人はいですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 日常的に祖父母等の親族におみてもらえる	⇒ 問9-1へ
2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族におみてもらえる	
3. 日常的に子どもをおみてもらえる友人・知人がいる	⇒ 問9-2へ
4. 緊急時もしくは用事の際には子どもをおみてもらえる友人・知人がいる	
5. いずれもない	⇒ 問10へ

問9-1 問9で「1.」または「2.」に○をつけた方にうかがいます。祖父母等の親族にお子さんをおみてもらえている状況についてお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをおみてもらえる	⇒ 問10へ
2. 祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である	
3. 祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である	
4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい	
5. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある	
6. その他（ ）	

問9-2 問9で「3.」または「4.」に○をつけた方にうかがいます。友人・知人にお子さんをおみてもらえている状況についてお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをおみてもらえる	
2. 友人・知人の身体的負担が大きく心配である	
3. 友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である	
4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい	
5. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある	
6. その他（ ）	

問10 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. いる/ある	⇒ 問10-1へ	2. いない/ない	⇒ 問11へ
----------	----------	-----------	--------

問10-1 問10で「1. いる/ある」に○をつけた方にうかがいます。お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 祖父母等の親族	2. 友人や知人
3. 近所の人	4. 子育て支援施設（地域子育て支援拠点、児童館等）・NPO
5. 保健所・保健センター	6. 保育士
7. 幼稚園教諭	8. 民生委員・児童委員
9. かかりつけの医師	10. 自治体の子育て関連担当窓口
11. その他（ [例] ベビーシッター ）	

問11 子育て（教育を含む）をする上で、周囲（身近な人、行政担当者など）からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。ご自由にお書きください。

--

宛名のお子さんの保護者の就労状況 についてうかがいます。

問12 宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。

(1) 母親 【父子家庭の場合は記入は不要です】 当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
2. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である
3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない
6. これまで就労したことがない

⇒ (1)-1へ

⇒ (2)へ

(1)-1 (1)で「1.~4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。(□内に数字でご記入ください。数字は一律に一字。)

1週当たり □日 1日当たり □□時間

家を出る時刻 □□時 帰宅時刻 □□時

(1)-2 (1)で「1.~4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時間は、必ず(例)08時~18時のように、2.4時間制でお答えください。(□内に数字でご記入ください。数字は一律に一字。)

(2) 父親 【母子家庭の場合は記入は不要です】 当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、産休・介護休業中ではない
2. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しているが、産休・介護休業中である
3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、産休・介護休業中ではない
4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、産休・介護休業中である
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない
6. これまで就労したことがない

⇒ 問14へ

(2)-1 (2)で「1.~4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。就労日数や就労時間が、一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。(□内に数字でご記入ください。数字は一律に一字。)

1週当たり □日 1日当たり □□時間

(2)-2 (2)で「1.~4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時間は、必ず(例)08時~18時のように、2.4時間制でお答えください。(□内に数字でご記入ください。数字は一律に一字。)

家を出る時刻 □□時 帰宅時刻 □□時

問13 問12の(1)または(2)で「3.4.」(パート・アルバイト等で就労している)に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問14へお進みください。

フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

(1) 母親

1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）の就労を続けることを希望
4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）をやめて子育てや家事に専念したい

(2) 父親

1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）の就労を続けることを希望
4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）をやめて子育てや家事に専念したい

問14 問12の(1)または(2)で「5.」以前は就労していたが、現在は就労していないまたは「6.」これまでに就労したことがないに○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問15へお進みください。就労したいという希望はありますか。当てはまる番号・記号それぞれ1つに○をつけ、該当する□内には数字をご記入ください(数字は一律に一字)。

(1) 母親

1. 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)
 2. 1年より先、一番下の子どもが□□歳になったら就労したい
 3. すぐでも、もしくは1年以内に就労したい
- 希望する就労形態
- ア. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）
イ. パートタイム、アルバイト等（「ア」以外）
→1週当たり □日 1日当たり □□時間

(2) 父親

1. 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)
 2. 1年より先、一番下の子どもが□□歳になったら就労したい
 3. すぐでも、もしくは1年以内に就労したい
- 希望する就労形態
- ア. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）
イ. パートタイム、アルバイト等（「ア」以外）
→1週当たり □日 1日当たり □□時間

宛名のお子さんの平日の定期的な教育・保育事業の 利用状況についてつかがいます。

※ここでいう「定期的な教育・保育事業」とは、**月単位で定期的に利用している事業を指します。具体的には、幼稚園や保育所など、問15-1に示した事業が含まれます。**

問15 宛名のお子さんは現在、幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育の事業」を利用されていますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 利用している ⇒ 問15-1へ 2. 利用していない ⇒ 問15-5へ

問15-1 問15-1～問15-4は、問15で「1.利用している」に○をつけた方にかかいます。

宛名のお子さんは、平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。年間を通じて「定期的」に利用している事業をお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

<p>1. 幼稚園 (通常の就園時間の利用)</p> <p>3. 認可保育所 (園が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けたもの)</p> <p>5. 家庭的保育 (保育者の家庭等で子どもを保育する事業)</p> <p>7. 自治体の認証・認定保育施設 (認可保育所ではないが、自治体が認証・認定した施設)</p> <p>9. 居宅訪問型保育 (ハビリーターのよう保育者が子どもの家庭で保育する事業)</p> <p>11. その他 ()</p>	<p>2. 幼稚園の預かり保育 (通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ)</p> <p>4. 認定こども園 (幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設)</p> <p>6. 事業所内保育施設 (企業が主に従業員用に運営する施設)</p> <p>8. その他の認可外の保育施設</p> <p>10. ファミリー・サポート・センター (地域住民が子どもを預かる事業)</p>
---	---

問15-2 平日に定期的に利用している教育・保育の事業について、どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。1週当たり何日、1日当たり何時間(何時から何時まで)かを、□内に具体的な数字でご記入ください(数字は一桁に一字)。時間は、必ず(例)09時～18時のように24時間制でご記入ください。

(1) 現在

1週当たり	□日	1日当たり	□時間	(□時～ □時)
-------	----	-------	-----	-----------------

(2) 希望

1週当たり	□日	1日当たり	□時間	(□時～ □時)
-------	----	-------	-----	-----------------

問15-3 現在、利用している教育・保育事業の実施場所についてつかがいます。「1.」「2.」のいずれかに○をつけてください。

1. 居住している市区町村内 2. 他の市区町村

問15-4 平日に定期的に教育・保育の事業を利用されている理由についてつかがいます。主な理由として当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 子どもの教育や発達のため

2. 子育て(教育を含む)をしている方が現在就労している

3. 子育て(教育を含む)をしている方が就労予定がある/求職中である

4. 子育て(教育を含む)をしている方が家族・親族などを介護している

5. 子育て(教育を含む)をしている方が病气や障害がある

6. 子育て(教育を含む)をしている方が学生である

7. その他 ()

問15-5 問15で「2.利用していない」に○をつけた方にかかいます。利用していない理由は何ですか。理由として最も当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. (子どもの教育や発達のため、子どもの母親が父親が就労していないなどの理由で)利用する必要がない

2. 子どもの祖父母や親戚の人がみている

3. 近所の人や父母の友人・知人がみている

4. 利用したいが、保育・教育の事業に空きがない

5. 利用したいが、経済的な理由で事業を利用できない

6. 使用したいが、延長・夜間等の時間帯の条件が合わない

7. 利用したいが、事業の質や場所など、納得できる事業がない

8. 子どもがまだ小さいため(減くらいになったら利用しようと考えている)

9. その他 ()

問16 すべての方に向かっています。現在、利用している、利用していないにかかわらず、宛名のお子さんの平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。認可保育所の場合、世帯収入に応じた利用料が設定されています。（自治体における料金設定を示す）

1. 幼稚園 (通常の就園時間の利用)	2. 幼稚園の預かり保育 (通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ)
3. 認可保育所 (国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けた定員20人以上のもの)	4. 認定こども園 (幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設)
5. 小規模な保育施設 (国が定める最低基準に適合した施設で市町村の認可を受けた定員概ね6～19人のもの)	6. 家庭的保育 (保育者の家庭等で5人以下の子どもを保育する事業)
7. 事業所内保育施設 (企業が主に従業員用に運営する施設)	8. 自治体の認証・認定保育施設 (認可保育所ではないが、自治体が認証・認定した施設)
9. その他の認可外の保育施設	10. 居宅訪問型保育 (ベビーシッターのような保育者が子どもの家庭で保育する事業)
11. ファミリー・サポート・センター (地域住民が子どもを預かる事業)	12. その他 ()

問16-1 教育・保育事業を利用したい場所についてうかがいます。「1.」「2.」のいずれかに○をつけてください。

1. 居住している市区町村内	2. 他の市区町村
----------------	-----------

宛名のお子さんの地域の子育て支援事業の利用状況についてうかがいます。

問17 宛名のお子さんは、現在、地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場で、「つどいの広場」「子育て支援センター」等と呼ばれています）を利用しています。次の中から、利用されているものすべてに○をつけてください。また、おおよその利用回数（頻度）を口内に数字でご記入ください（数字は一般に一字）。

1. 地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過ごしたり、相談をする場）
1週当たり <input type="checkbox"/> 回 もしくは 1ヶ月当たり <input type="checkbox"/> 回程度
2. その他当該自治体で実施している類似の事業（具体名：)
1週当たり <input type="checkbox"/> 回 もしくは 1ヶ月当たり <input type="checkbox"/> 回程度
3. 利用していない

問18 問17のような地域子育て支援拠点事業について、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いませんか。当てはまる番号一つに○をつけて、おおよその利用回数（頻度）を口内に数字でご記入ください（数字は一般に一字）。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生する場合があります。（自治体における料金設定を示す）

1. 利用していないが、今後利用したい
1週当たり <input type="checkbox"/> 回 もしくは 1ヶ月当たり <input type="checkbox"/> 回程度
2. すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい
1週当たり <input type="checkbox"/> 回 もしくは 1ヶ月当たり <input type="checkbox"/> 回程度
3. 新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない

問19 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。①～⑦の事業ごとに、A～Cのそれぞれについて、「はい」「いいえ」のいずれかに○をつけてください。なお、事業によっては、お住まいの地域で実施されていないものもあります。

	A	B	C
①母親（父親）学級、両親学級、育児学級	知っている	これまでに利用したことがある	今後利用したい
②保健センターの情報・相談事業	はい	はい	はい
③家庭教育に関する学級・講座	はい	はい	はい
④教育相談センター・教育相談室	はい	はい	はい
⑤保育所や幼稚園の園庭等の開放	はい	はい	はい
⑥子育ての総合相談窓口	はい	はい	はい
⑦自治体発行の子育て支援情報誌	はい	はい	はい
〇〇〇〇〇	はい	はい	はい
〇〇〇〇〇	はい	はい	はい

宛名のお子さんの土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望についてうかがいます。

問20 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育事業の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。希望がある場合は、利用したい時間帯を、(例)09時～18時のように24時間制でご記入ください(数字は一律に一字)。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

※保育・教育事業とは、幼稚園、保育所、認可外保育施設などの事業を指しますが、親族・知人による預かりは含みません。

(1) 土曜日

1. 利用する必要はない 利用したい時間帯 時から 時まで

2. ほぼ毎週利用したい 時から 時まで

3. 月に1～2回は利用したい 時から 時まで

(2) 日曜・祝日

1. 利用する必要はない 利用したい時間帯 時から 時まで

2. ほぼ毎週利用したい 時から 時まで

3. 月に1～2回は利用したい 時から 時まで

問20-1 問20の(1)もしくは(2)で、「3.月に1～2回は利用したい」に○をつけた方にうかがいます。毎週ではなく、たまに利用したい理由は何か。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 月に数回仕事が入るため 2. 平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため

3. 親族の介護や手伝いが必要のため 4. 急抜きのため

5. その他 ()

問21 「幼稚園」を利用されている方にうかがいます。宛名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育事業の利用を希望しますか。希望がある場合は、利用したい時間帯を、(例)09時～18時のように24時間制でご記入ください(数字は一律に一字)。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

1. 利用する必要はない 利用したい時間帯 時から 時まで

2. 休みの期間中、ほぼ毎日利用したい 時から 時まで

3. 休みの期間中、週に数日利用したい 時から 時まで

問21-1 問21で、「3.週に数日利用したい」に○をつけた方にうかがいます。毎日ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 週に数回仕事が入るため 2. 買い物等の用事をまとめて済ませるため

3. 親等親族の介護や手伝いが必要のため 4. 急抜きのため

5. その他 ()

宛名のお子さんの病気の際の対応についてうかがいます。(平日の教育・保育を利用する方のみ)

問22 平日の定期的な教育・保育事業を利用していただくと答えた保護者の方(問15で1に○をつけた方)にうかがいます。利用していらっしゃらない方は、問23にお進みください。

この1年間に、宛名のお子さんが病気やケガで通常の事業が利用できなかったことはありませんか。

1. あった 問22-1へ 2. なかった 問23へ

問22-1 宛名のお子さんが病気やケガで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合に、この1年間に行った対応方法として当てはまる記号すべてに○をつけ、それぞれの日数も□内に数字で記入してください(半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください。数字は一律に一字)。

1年間の対応方法		日数
ア. 父親が休んだ		□□日
イ. 母親が休んだ		□□日
ウ. (同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった		□□日
エ. 父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた		□□日
オ. 病児・病後児の保育を利用した		□□日
カ. ベビーシッターを利用した		□□日
キ. ファミリー・サポート・センターを利用した		□□日
ク. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた		□□日
ク. その他 ()		□□日

※「ファミリー・サポート・センター」には、「病児・緊急対応強化事業」による利用も含まれます。

問22-1で「ア」「イ」のいずれかに回答した方にうかがいます。

問22-2 その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。当てはまる番号1つに○をつけ、日数についても□内に数字でご記入ください(数字は一律に一字)。なお、病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかります。利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい 日 時 分 ⇒ 問22-3へ

2. 利用したいとは思わない ⇒ 問22-4へ

問22-3 問22-2で「1.できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」に○をつけた方にうかがいます。上記の目的で子どもを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われませんか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 他の施設(例:幼稚園・保育所等)に併設した施設で子どもを保育する事業

2. 小児科に併設した施設で子どもを保育する事業

3. 地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業(例:ファミリー・サポート・センター等)

4. その他 ()

⇒ 問23へ

問22-4 問22-2で「利用したいと思わない」に○をつけた方に伺います。そう思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 病児・病後児を他人に看てもらえない	2. 地域の事業の質に不安がある
3. 地域の事業の利便性（立地や利用可能時間日数など）がよくない	4. 利用料がかかると高い
5. 利用料がわからない	6. 親が仕事を休んで対応する
7. その他（ ）	

⇒ 問23へ

問22-1で「ウ」から「ケ」のいずれかに回答した方に伺います。

問22-5 その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思われましたか。当てはまる番号1つに○をつけ、「ウ」から「ケ」の日数のうち仕事を休んで看たかった日数についても数字でご記入ください。（数字は一律に一字）。

1. できれば仕事を休んで看たい	⇒ □□□□日	⇒ 問23へ
2. 休んで看ることは非常に難しい		⇒ 問22-6へ

問22-6 問22-5で「2. 休んで看ることは考えられない」に○をつけた方に伺います。そう思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 子どもの看護を理由に休みがとれない	2. 自営業なので休めない
3. 休暇日数が足りないので休めない	4. その他（ ）

宛名のお子さんの不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用についてうかがいます。

問23 宛名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のケア以外に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。ある場合は、当てはまる番号すべてに○をつけ、1年間の利用日数（おおよそ）も口内に数字でご記入ください。（数字は一律に一字）。

利用している事業・日数（年間）	計 □□□□日
1. 一時預かり（私用など理由を問わずに保育所などで一時的に子どもを保育する事業）	□□□□日
2. 幼稚園の預かり保育（通常の就園時間を延長する事業のうち不定期に利用する場合のみ）	□□□□日
3. ファミリー・サポート・センター（地域住民が子どもを預かる事業）	□□□□日
4. 夜間看護等事業；トワイライストライ（児童養護施設等で休日・夜間、子どもを保護する事業）	□□□□日
5. ベビーシッター	□□□□日
6. その他（ ）	□□□□日
7. 利用していない	

⇒ 問24へ

問23で「7. 利用していない」と回答した方に伺います。

問23-1 現在利用していない理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 特に利用する必要がない
2. 利用したい事業が地域にない
3. 地域の事業の質に不安がある
4. 地域の事業の利便性（立地や利用可能時間・日数など）がよくない
5. 利用料がかかると高い
6. 利用料がわからない
7. 自分が事業の対象者にならない
8. 事業の利用方法（手続き等）がわからない
9. その他（ ）

問24 宛名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。利用希望の有無について当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な日数をご記入ください。（利用したい日数の合計と、目的別の内訳の日数を口内に数字でご記入ください。数字は一律に一字。）なお事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

1. 利用したい	計 □□□□日
ア. 私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の思い事等）、リフレッシュ目的	□□□□日
イ. 冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等	□□□□日
ウ. 不定期の就労	□□□□日
エ. その他（ ）	□□□□日
2. 利用する必要はない	

⇒ 問25へ

問 24-1 問 24 で「1. 利用したい」に○をつけた方にうかがいます。問 24 の目的でお子さんをお預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われるか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 大規模施設で子どもを保育する事業（例：幼稚園・保育所等）
2. 小規模施設で子どもを保育する事業（例：地域子育て支援拠点等）
3. 地域住民等が子育て家庭等の近くの場所で開催する事業（例：ファミリー・サポート・センター等）
4. その他（ ）

問 25 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、宛名のお子さんを泊りだけで家族以外にみてもらわなければならないことはありますか（預け先が見つけられなかった場合も含みます）。あった場合は、この1年間の対処方法として当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数も口内に数字でご記入ください（数字は一枚に一字）。

1年間の対処方法		日数
1. あった	ア. (同居者を含む) 親族・知人にみてもらった	□□泊
	イ. 短期入所生活援助事業（ショートステイ）を利用した（児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業）	□□泊
	ウ. イ以外の保育事業（認可外保育施設、ベビーシッター等）を利用した	□□泊
	エ. 仕方なく子どもを同行させた	□□泊
	オ. 仕方なく子どもだけを留守番させた	□□泊
	カ. その他（ ）	□□泊
2. なかった		

問 25 で「1. あった ア. (同居者を含む) 親族・知人にみてもらった」と答えた方にうかがいます。

⇒ア. 以外を選択した方は 問 26へ

問 25-1 その場合の困難度はどの程度でしたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 非常に困難
2. どちらかというと困難
3. 特に困難ではない

宛名のお子さんが5歳以上である方に、小学校就学後の放課後の過ごし方についてうかがいます。

⇒ 5歳未満の方は、問 30へ

問 26 宛名のお子さんについて、小学校低学年（1～3年生）のうちは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思えますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週当たり日数を数字でご記入ください。また、「放課後児童クラブ」の場合には、利用を希望する時間も口内に数字でご記入ください。時間は必ず（例）18時 のように24時間制でご記入ください（数字は一枚に一字）。「放課後児童クラブ」…地域によって学童保育などと呼ばれています。保護者が就労等により昼間家庭にいない場合などに、指導員の下、子どもの生活の場を提供するものです。事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

1. 自宅	週 □ □ 日 □ □ 日 □ □
2. 祖父母や友人・知人家	週 □ □ 日 □ □ 日 □ □
3. 習い事 (ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)	週 □ □ 日 □ □ 日 □ □
4. 児童館 ※1	週 □ □ 日 □ □ 日 □ □
5. 放課後子ども教室 ※2	週 □ □ 日 □ □ 日 □ □
6. 放課後児童クラブ（学童保育）	週 □ □ 日 □ □ 日 □ □ → 下校時から □□時まで
7. ファミリー・サポート・センター	週 □ □ 日 □ □ 日 □ □
8. その他（公民館、公園など）	週 □ □ 日 □ □ 日 □ □

※1 児童館で行う放課後児童クラブを利用している場合は「6.」に回答

※2 「放課後子ども教室」…地域の方々の協力を得て、放課後や週末に小学校や公民館で学習・スポーツ・文化芸術活動などを体験する取組です。保護者の就労の有無に関わらず、すべての小学生が利用できます。

問 27 宛名のお子さんについて、小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所でご過ごさせたいと思えますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの週当たり日数を数字でご記入ください。また、「放課後児童クラブ」の場合には利用を希望する時間も口内に数字でご記入ください。時間は必ず（例）18時 のように24時間制でご記入ください（数字は一枚に一字）。

※1 できるだけ先のことになりますが、現在お持ちのイメージでお答えください。

1. 自宅	週 □ □ 日 □ □ 日 □ □
2. 祖父母や友人・知人家	週 □ □ 日 □ □ 日 □ □
3. 習い事 (ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)	週 □ □ 日 □ □ 日 □ □
4. 児童館 ※	週 □ □ 日 □ □ 日 □ □
5. 放課後子ども教室	週 □ □ 日 □ □ 日 □ □
6. 放課後児童クラブ（学童保育）	週 □ □ 日 □ □ 日 □ □ → 下校時から □□時まで
7. ファミリー・サポート・センター	週 □ □ 日 □ □ 日 □ □
8. その他（公民館、公園など）	週 □ □ 日 □ □ 日 □ □

※ 児童館で行う放課後児童クラブの利用を希望する場合は「6.」に回答

問28 問26 または問27で「6. 放課後児童クラブ（学童保育）」に○をつけた方にかがいます。宛名のお子さんについては、土曜日と日曜日・祝日に、放課後児童クラブの利用希望はありますか。事業の利用には、一定の利用料がかかります。(1) (2) それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、口内に(例) 09時～18時 のように24時間制でご記入ください(数字は一律に一字)。

(1) 土曜日

1. 低学年(1～3年生)の間は利用したい ⇨ 利用したい時間帯

2. 高学年(4～6年生)になっても利用したい ⇨ □□時から □□時まで

3. 利用する必要はない

(2) 日曜・祝日

1. 低学年(1～3年生)の間は利用したい ⇨ 利用したい時間帯

2. 高学年(4～6年生)になっても利用したい ⇨ □□時から □□時まで

3. 利用する必要はない

問29 宛名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の放課後児童クラブの利用希望はありますか。事業の利用には、一定の利用料がかかります。当てはまる番号1つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、口内に(例) 09時～18時 のように24時間制でご記入ください(数字は一律に一字)。

1. 低学年(1～3年生)の間は利用したい ⇨ 利用したい時間帯

2. 高学年(4～6年生)になっても利用したい ⇨ □□時から □□時まで

3. 利用する必要はない

すべての方に、育児休業や短時間勤務制度など職場の阿立支援制度についてうかがいます。

問30 宛名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。母親、父親それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけ、該当する口内に数字をご記入ください(数字は一律に一字)。また、取得していない方はその理由をご記入ください。

母親 (いずれかに○)	父親 (いずれかに○)
1. 働いていなかった	1. 働いていなかった
2. 取得した(取得中である)	2. 取得した(取得中である)
3. 取得していない ⇒ 取得していない理由(下から番号を選んでご記入ください)(いくつでも)	3. 取得していない ⇒ 取得していない理由(下から番号を選んでご記入ください)(いくつでも)

職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった

1. 職場に育児休業を取ることが難しかった
2. 仕事が多忙だった
3. (産休後)仕事に早く復帰したかった
4. 仕事に戻るのに難しかった
5. 昇給・昇格などが遅れそうだった
6. 収入減となり、経済的に苦しくなる
7. 保育所(園)などに預けることができた
8. 配偶者が育児休業制度を利用した
9. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえらるなど、制度を利用する必要がなかった
10. 子育てや家事に専念するため退職した
11. 職場に育児休業の制度がなかった(就業規則に定めなかった)
12. 有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった
13. 育児休業を取得できることを知らなかった
14. 産前産後の休暇(産前6週間、産後8週間)を取得できることを知らず、退職した
15. その他()

問30-1 子どもが原則1歳(保育所における保育の実施が行われないなど一定の要件を満たす場合は1歳6月)になるまで育児休業給付が支給される仕組み、子どもが満3歳になるまでの育児休業等(法定の育児休業及び企業が法定を上回る期間設けた育児休業に準ずる措置)期間について健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組みがありますが、そのことをご存じでしたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた
2. 育児休業給付のみ知っていた
3. 保険料免除のみ知っていた
4. 育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった

問30で「2. 取得した（取得中である）」と回答した方にかがいます。

⇒ 該当しない方は、問31へ
問30-2 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

(1) 母親

1. 育児休業取得後、職場に復帰した
2. 現在も育児休業中である
3. 育児休業中に離職した

(2) 父親

1. 育児休業取得後、職場に復帰した
2. 現在も育児休業中である
3. 育児休業中に離職した

問30-2で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にかがいます。

問30-3 育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。どちらか1つに○をつけてください。※年度初めでの認可保育所入所を希望して、1月～2月頃復帰して一時的に認可外保育所に入所した場合なども「1.」に当てはまります。また、年度初めでの入所を希望して復帰したが、実際には希望する保育所に入所できなかったという場合も「1.」を選択してください。

(1) 母親

1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった	2. それ以外だった
-------------------------	------------

(2) 父親

1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった	2. それ以外だった
-------------------------	------------

問30-4 育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何ヶ月のときまで取りたいですか。□内に数字でご記入ください。（数字は一位に一字）。

(1) 母親

実際の取得期間	□ 歳 □ □ ヶ月	希望	□ 歳 □ □ ヶ月
---------	------------	----	------------

(2) 父親

実際の取得期間	□ 歳 □ □ ヶ月	希望	□ 歳 □ □ ヶ月
---------	------------	----	------------

問30-5 お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何ヶ月のときまで取りたいですか。□内で数字でご記入ください（数字は一位に一字）。

(1) 母親

□ 歳 □ □ ヶ月

(2) 父親

□ 歳 □ □ ヶ月

問30-4で実際の復帰と希望が異なる方にかがいます。

問30-6 希望の時期に職場復帰しなかった理由についてうかがいます。
(1) 「希望」より早く復帰した方 ※当てはまる番号すべてに○をつけてください。

① 母親

1. 希望する保育所に入るため	2. 配偶者や家族の希望があったため
3. 経済的な理由で早く復帰する必要があった	4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため
5. その他 ()	

② 父親

1. 希望する保育所に入るため	2. 配偶者や家族の希望があったため
3. 経済的な理由で早く復帰する必要があった	4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため
5. その他 ()	

(2) 「希望」より遅く復帰した方 ※当てはまる番号すべてに○をつけてください。

① 母親

1. 希望する保育所に入れなかったため	2. 自分や子どもなどの体調が悪くならなかったため
3. 配偶者や家族の希望があったため	4. 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため
5. 子どもをみてくれる人がいなかったため	
6. その他 ()	

② 父親

1. 希望する保育所に入れなかったため	2. 自分や子どもなどの体調が悪くならなかったため
3. 配偶者や家族の希望があったため	4. 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため
5. 子どもをみてくれる人がいなかったため	
6. その他 ()	

問30-2で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にかがいます。

問30-7 育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

(1) 母親

1. 利用する必要がなかった（フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった）
2. 利用した
3. 利用したが、利用しなかった（利用できなかった）

(2) 父親

1. 利用する必要がなかった（フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった）
2. 利用した
3. 利用したが、利用しなかった（利用できなかった）

問30-7で「3.利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）」と回答した方うかがいます。

問30-8 短時間勤務制度を利用しなかった（利用できなかった）理由は何ですか。当てはまる理由をすべてに○をつけてください。

(1) 母親

1. 職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった
2. 仕事が忙しかった
3. 短時間勤務にすると給与が減額される
4. 短時間勤務にすると保育所の入所申請の優先順位が下がる
5. 配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した
6. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、子どもをみてくれる人がいた
7. 子育てや家事に専念するため退職した
8. 職場に短時間勤務制度がなかった（就業規則に定めがなかった）
9. 短時間勤務制度を利用できることを知らなかった
10. その他（ ）

(2) 父親

1. 職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった
2. 仕事が忙しかった
3. 短時間勤務にすると給与が減額される
4. 短時間勤務にすると保育所の入所申請の優先順位が下がる
5. 配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した
6. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、子どもをみてくれる人がいた
7. 子育てや家事に専念するため退職した
8. 職場に短時間勤務制度がなかった（就業規則に定めがなかった）
9. 短時間勤務制度を利用できることを知らなかった
10. その他（ ）

問30-2で「2.現在も育児休業中である」と回答した方うかがいます。

問30-9 宛名のお子さんが1歳になったときに必ず利用できる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる事業があっても1歳になる前に復帰しますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

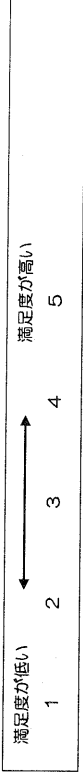
(1) 母親

1. 1歳になるまで育児休業を取得したい
2. 1歳になる前に復帰したい

(2) 父親

1. 1歳になるまで育児休業を取得したい
2. 1歳になる前に復帰したい

問31 お住まいの地域における子育ての環境や支援への満足度について当てはまる番号に1つに○をつけてください。



問32 最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

.....

.....

.....

.....

.....

調査にご協力いただきまして、ありがとうございます。
切手は貼らずに同封の封筒に入れ、ご投函ください。